

4月

・中谷記念財団の指定研究 タコの陸上養殖

中谷記念財団の指定を受け、タコの陸上養殖に挑戦することになりました。タコの養殖では、餌として多くの甲殻類を確保することが課題の一つとなっています。そこで本校では、コオロギを中心とした昆虫をタコの餌とすることで、課題の解決を試みます。実験に用いるイイダコは、東京海洋大学よりわけていただきました。また、マダコやスナダコなどは業者より購入しました。



5月

・干潟での生物採集

横浜市海の公園で干潟の生物採集を行いました。アサリやマテガイなどが採集できました。採集した生物の一部は持ち帰り飼育しました。



6月

・変化アサガオの栽培

教育ボランティアの千葉さんより、変化アサガオの栽培方法を学び始めました。千葉さんは、定期的にご来校くださり、ご熱心に指導をしてくださりました。しかし、今年の猛暑でアサガオの栽培は難航し、9月に入りやっと開花し始めました。



・東京都立成瀬高校生物部の生徒たちが、本校生物部展示室を訪問しました。生徒たちは、互いの今日にもある生物や研究について意見を交換しました。



7月

・こどもエコクラブの指定

本校は、毎年埼玉県動植物の調査と保護というテーマで、こどもエコクラブの指定を受けています。主な活動内容は、県内全域の在来種系統と外来種系統のドジョウの分布調査、所沢市を中心とした歩行虫の調査、高麗川の水質調査、小鹿野町のタマアジサイの生育調査、行田市のアツカワオオイシソウの調査などです。

・歩行虫調査

毎年、トトロの森のモデルともなった所沢市の狭山丘陵で歩行虫の調査をしています。主に採集しているものは、アオオサムシとオオヒラタシデムシです。今年は、アオオサムシがたくさん採集できましたが、昨年はオオヒラタシデムシ、また年によっては、糞虫のセンチコガネがたくさん採集できる年もあり、これら昆虫における発生には、周期性がありそうなのことがわかってきました。



・ドジョウ調査

ドジョウは、私たちにとって身近な魚ですが、野外で採集したドジョウの多くが外来種であることを知っていますか？私たちは、その事実を重く受け止め、外来種系統のドジョウが、県内のどの地域に生息しているのかを調査しています。



・高麗川での調査

高麗川で毎年行っている全国水生生物調査を実施しました。例年に比べて水温が高めであったことと、外来種のブラックバスの稚魚を初めて採集したことで、危機感を持ちました。しかし、川に暮らす生物の特徴から、高麗川は綺麗な川といった評価をしました。



・ワサビ栽培の新技术

ワサビの栽培といえば、涼しい地域の清流が適地とされており、長野県の安曇野や静岡県为天城付近が有名です。しかし、生物部では清流でなくてもワサビの栽培が可能なのではないかと気がつきました。それを確かめるために、学校のベランダや山梨県のペンションすずらん周へんなどでワサビ栽培を進めています。



・尾瀬合宿

毎年、旅館うめやに宿泊しながら、活動しています。1日目は、歩行虫調査とスキー場付近での昆虫採集、片品川での水生生物採集を行いました。夕食後も昆虫採集や天体観測などをしました。2日目は、尾瀬ヶ原散策。湿原固有の植物観察やアブの行動観察などを進めました。宿に帰った後も、歩行虫調査などを行いました。3日目は、合宿のまとめを行い、川場田園プラザに立ち寄ってショッピングや食事を楽しみました。



8月

・南伊豆合宿

3年前から卒業生の紹介で民宿木屋に宿泊して、調査活動を進めています。1日目は、2班に分かれて磯釣りや昆虫採集を行いました。昆虫採集では、ミヤマクワガタやヒラタクワガタなどがたくさん採集できました。夕食後は、港で魚などの採集を行いました。2日目は、青の川付近で水生生物の採集、そして磯採集を行いました。夕食後には、京都大学大学院生によるガの糞を茶に利用する取り組みについて講義を受けました。その後は、1日目と同様に港に出て魚を採集したり、灯火採集でクワガタムシを採集したりしました。3日目は、合宿のまとめを行い、伊豆急下田駅でショッピングや食事を楽しみました。合宿の様子は、伊豆下田経済新聞に掲載され、2025年8月のよく読まれた記事で第一位となりました。



・歩行虫調査

歩行虫は、その生息地によって種数や個体数が異なっています。今後の調査結果のまとめ方次第では、歩行虫を指標生物として活用できるのではないかと考えています。そこで、これまで所沢市の土からなる環境から離れ、土や土からなる環境での歩行虫の調査を実施しました。



・リバネス主催サイエンスキャッスルライフサイエンス賞受賞

ワサビ栽培で研究を進めるグループは、株式会社リバネスのサイエンスキャッスル研究費ライフサイエンス賞に応募し見事受賞しました。これから半年間、研究者から指導を受けながらワサビ栽培の新技术に関してのデータの蓄積に向けて頑張ります。

9月

・野生ガクアジサイの観察

生物部では、ガクアジサイの微細な種子がどのように親株から広がり、生育していくのかを調べています。9月には、神奈川県のお音岬に自生するガクアジサイを観察し、新たな仮説を立てるに至りました。3月のコンクール発表に向けて、仮説の検証に挑みます。



・埼玉環境フェア&こども環境フェスティバルで口頭発表

21日、上尾市のイオンモールで開催された埼玉環境フェア&こども環境フェスティバルで生物部が口頭発表をしました。数年間の調査結果をまとめたドジョウ研究、歩行虫研究、高麗川での調査結果などについて発表しました。



・リバネス主催サイエンスキャッスルロッテ賞受賞

今年からロッテがサイエンスキャッスル研究費の部門で中高生に研究指導をしてくださることになりました。テーマはカリンを用いて研究ということでした。生物部では、長年養殖魚などの研究を進めているため、カリンを餌に混ぜて与えた養殖魚への影響についての研究を提案したことが評価され、受賞に至りました。